

スマホ専用画面構築

MCデータプラスがクラウドサービス拡充

元請とのデータ連携も

MCデータプラス(東京都渋谷区、飯田正生社長)が建設業向けクラウドサービスを拡充している。作業間連絡調整サービスでスマートフォン専用画面を取り入れ、入力利便性を高めた。ユーザーである元請会社の独自システムとのデータ連携に向けた対応も進める。協力会社向けにグリーンサイト利用方法を説明するウェビナーを始めるなどサポート体制も強化している。

建設業向けクラウドサービス「建設サイト・シリーズ」として、労務安全書類作成サービス「グリーンサイト」や、作業間連絡調整サービス「ワークサイト」などを展開している。建設キャリアアップシステム(CCUS)とも連携済みだ。

ワークサイトでスマートフォン専用画面を構築。作業登録や安全巡視指摘など職長の利用頻度が高い項目を、スマートフォンから入力できる。屋外でも見やすい配色などを採用している。大手ゼネコンでは、清水建設がワークサイトを全現場で展開している。

データを有効活用しながら、建設DX(デジタルトランスフォーメーション)や魅力向上を後押しする。元請会社システムや外部アプリケーションなど外部システムとの連携も、ニーズを踏まえ前向きに対応していく。二酸化炭素(CO₂)排出量モニタリング支援メニューも検討している。

グリーンサイトへの理解促進を狙いに、協力会社向けのウェビナーを昨年11月に始めた。月1回程度のペースで継続するという。

ワークサイトでスマートフォン専用画面を構築。作業登録や安全巡視指摘など職長の利用頻度が高い項目